

セント・ルカ産婦人科

LUKE MAGAZINE WINTER

ルカ新聞

No.30
2015.12.

北穂高岳より 2015.10

柘たけ
榴くろ

自分は信仰を持っているといっても行いが伴わなければ何の役に立つでしょうか。もし着るものもなく、その日の食べ物にも事欠いている人がいるとき、彼らに「安心していきなさい、温まりなさい、満腹するまで食べなさい」と言うだけで、必要なものを何一つ与えないなら何の役に立つでしょうか。信仰もこれと同じです。行いが伴わないなら信仰は死んだものです。

ヤコブの手紙2章14節—17節

「有言実行」をいいます。いへりへり耳に心地よいことを聞かされても、結果が伴わなければ何にもなりません。最近は何となく心地よいほうが好まれ、見た目に良いほうが選ばれ、外見に惑わされる場合が多いように思います。しかしその実態は、となると、いろいろ問題があることがあります。本質は何か、よく考え、見極めなければなりません。今のよう情報量の多いときはありません。インターネットからは様々な情報が発信されています。これらの中からの確に正しい情報のみを得ることは至難の業でしょう。注意しなければなりません。

ヤコブの言葉は我々医療側にとってはかなり厳しい意見です。ともすると患者さんに安易なことを言ってしまう、楽観的な予後を期待してしまう傾向があります。そのほうがこちらも気が休まるからです。しかしここでしっかりとものを考え、いやでも、またきつくてもやむを得ないこともあります。その時を間違えると手遅れになることもあります。実行を伴った信仰を持ちたいと思います。



巻 頭 言

院長 宇津宮 隆史

世界では文明（貧富）の格差（宗教ではない）による事件が相次いでおり、特に西洋とアラブの間で事件が増加しています。中東からの避難民が大勢 EU に押しかけ、パリでは一度に130人もの死亡者を出すテロが起こり、さらにその範囲は全ヨーロッパ、アフリカなどに広がっています。イスラエルと周辺国の争いも深刻化してきています。「いつかまたあのエルサレムに行きたい」と思っていました、当分叶いそうもありません。その原因について、いくつか歴史の本を読んでみると、第1次世界大戦前からのヨーロッパ諸国のアラブ、アフリカ諸国に対する帝国主義的政策の歴史的結果によるものであるようです。

先日、初めて中国にゆっくり滞在しましたが、この大きな国、13億人以上という国民に選挙権がなく、自由にものが言えない、自由に移動できないという基本的人権がないということに対して国民はどう感じているのか、まったく不思議で、「ありえない！」と実感した次第です。

さて、生殖医療について。昨今の傾向は、今まで我々が行ってきた、いかに成功率を上げるか、という視点から、そろそろ次のステップを考えなければならない次元に来ているように思えます。それは「正しい医療をする」ことでしょう。その原点は、日本にいる140万組の不妊に悩む患者の望みをかなえる援助と、その結果、生まれてきた子どもが本当に幸せと感じてもらえるかであると思います。

11月には中国・重慶で開かれた生殖医学会に招かれ、胚呼吸量とタイムラプスの話をしてきました。また、2日おいてボストンに飛び、臨床遺伝に関する研究会に参加してきました。その結果、体外受精の中で最良好胚を選ぶ方法は、今までは顕微鏡検査のみでしたが、それに加え、今や、タイムラプス観察、胚呼吸量測定、そして胚の遺伝子検査という時代になったことを実感し、生殖医療の世界もこの1～2年で「遺伝子」が欠かせないツールの一つとなると思いました。私は日本の生殖医療は抜きん出てトップを走っていると確信していますが、その日本が、こと遺伝医学に関しては世界の潮流にかなり遅れて、よたよたとついて行っていると感じました。タイムラプスは世界中で試みられてきましたが、呼吸量測定は当院独自のものです。中国でも高い関心を持ってきています。中国には4,000万組以上の不妊に悩んでいる方々がいます。ここでタイムラプス観察と胚呼吸量測定を組み合わせた結果が大きな役割を果たすと思います。

また、胚の遺伝子診断では、アレイ比較ゲノムハイブリダイゼーション (a-CGH) や次世代シーケンサー (NGS) が主流になってきました。これで胚の着床前診断 (PGS・PGD) が飛躍的に進歩するでしょう。おそらく2～3年後には個人クリニックでも CGH や NGS がルーチン検査になると思いますし、そうしなければ世界レベルから見ても、患者の権利を守ることはできないといわれる時代が来ると思います。

AID（非配偶者間人工授精）については、世界中でそのガイドラインが変化してきており、EU ではフ

ランス以外すべて、さらにオーストラリア、ニュージーランド、アメリカの一部の州などでは、もっとも重要な、生まれてくる子どもの「出自を知る権利」が保障されてきています。日本でもそうならなければならないと思います。それは JISART が先鞭を切るべきであると思うし、また、それができるのは JISART しかないと思います。非配偶者間生殖医療はありとあらゆる組み合わせがあり、複雑でどこまでが認容され、どこからが制限されるかは意見が分かれるところですが。しかしその決定にあたり、もっとも重要で欠くことのできない項目は生まれてくる「子どもの福祉」であると思います。これを目安にすれば、すべてが「正しい治療」となるはずですが。アジアの国々でもいろいろな非配偶者間医療が行われ、日本人もそれにかかわっていることが報道されていますが、もっとも重要なことはそれらの技術で生まれた子どもの今後の生育状態だと思っています。そこに関心を持っていかなければなりません。

また、不妊治療の経済的問題について、今年は朗報があります。大分県が不妊患者への援助をさらに増額してくれたこと、それは特別不妊治療助成金へのさらなる上乗せです。今まで助成金は体外受精1回につき15万円が国から助成されてきました。私は1997年から、不妊治療、特に体外受精の保険適用もしくはそれに匹敵する補助を要請してきました。そして2002年から4回の国会請願を行い、全国的に助成金が出るようになりました。そこに今年、大分県福祉保健部から問い合わせがあり、生殖医療を行っている他の施設と一緒に資料提供や話し合いを行いました。その結果、大分県として、さらに15万円を追加援助してくれることが決まり、10月から4月にさかのぼって合計30万円が交付され、体外受精が保険適用と同じ経済負担で受けられるようになりました。これは県単位では日本で初めてで、しかもその後続く県はまだありません。大分県は日本の中で子育て支援にもっとも進んでいる県といってよいでしょう。今後はさらに保育所・幼稚園の整備や働く母親への支援、そして養育困難児への援助などにも広がってほしいと思います。

別府平和園は順調にっていますが、相変わらず対応がむづかしい子どもたちが入園してきています。平和園は県や児童相談所からよい評価を受けていますので、それも諾なるかなというところですが。人事面では、新年には新しい人員構築が必要になります。システム面も4～6人の子どもに3～4人の保育士という手厚い体制になり、大分県は里親制度でも日本でトップを走っていますので、その中での施設養護の在り方を考えねばなりません。このような環境の中で懸命に子どもの世話をしてくれている保育士と周りの皆さん方には本当に頭が下がる思いです。

今までは在園が18歳までであった年齢制限が20歳まで延長され、子どもたちの職業訓練も視野に入れた計画が実現しました。保育士さんたちが最も心配であったなかの一つの「手に技術を持った社会人として送り出す」ことが可能になりそうです。また、平和園の動きは多くの方々からの浄財に支えられていることはうれしいことですが、それを職員全員と子どもたちにも機会があるたびに感謝をもって伝えております。今後もよろしくご支援お願いいたします。





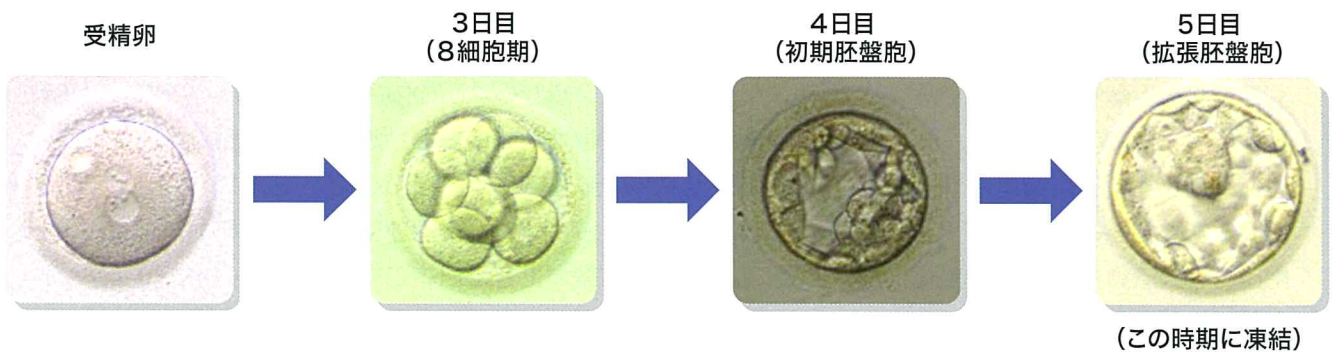
研究室だより



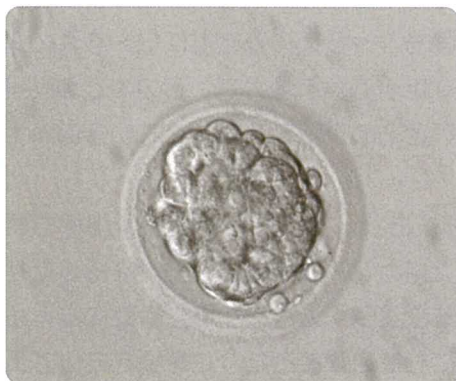
培養室より

移植する胚の写真をお渡しできるようになりました

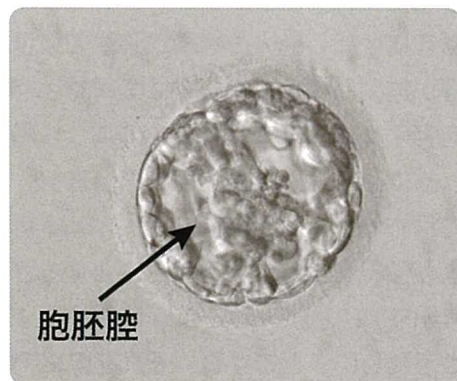
これまで、移植時に移植室のモニターでのみ胚を見ることができましたが、今回さらに、写真にしてお渡しできるようになりました。



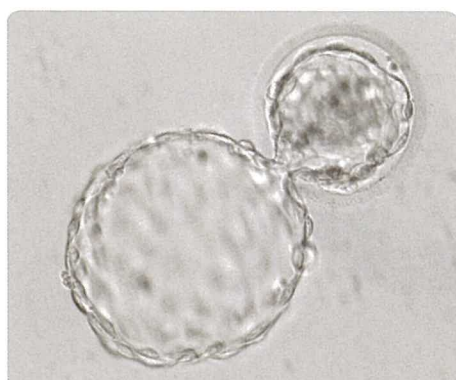
融解後1~2時間の胚は収縮していることが多いです。これは凍結するとき胚を守る為に収縮させる処理を行うからです。収縮した胚でも、時間が経つともとの状態に胞胚腔が拡張し、元気な胚であれば次の段階に発育していきますので移植には問題ありません。



融解後1~2時間でまだ収縮している状態 (腔はまだない)



少しずつ回復してきている状態 (腔がある)



融解翌日には、元気がよければ胞胚腔が大きく広がり、脱出胚盤胞になることもあります。

完全に脱出するとその後は着床に向かい、胚はさらに発育します。

ひとつひとつの胚には、発育段階によって色々な状態がありますので、写真を見てわからないことがあれば培養室スタッフに声をかけてください。



看護部だより



剤形別経皮的エストロゲン補充薬剤の比較

手島 しおり

当院では凍結胚移植のエストロゲン補充にエストラーナ®テープを主に使用していましたが、

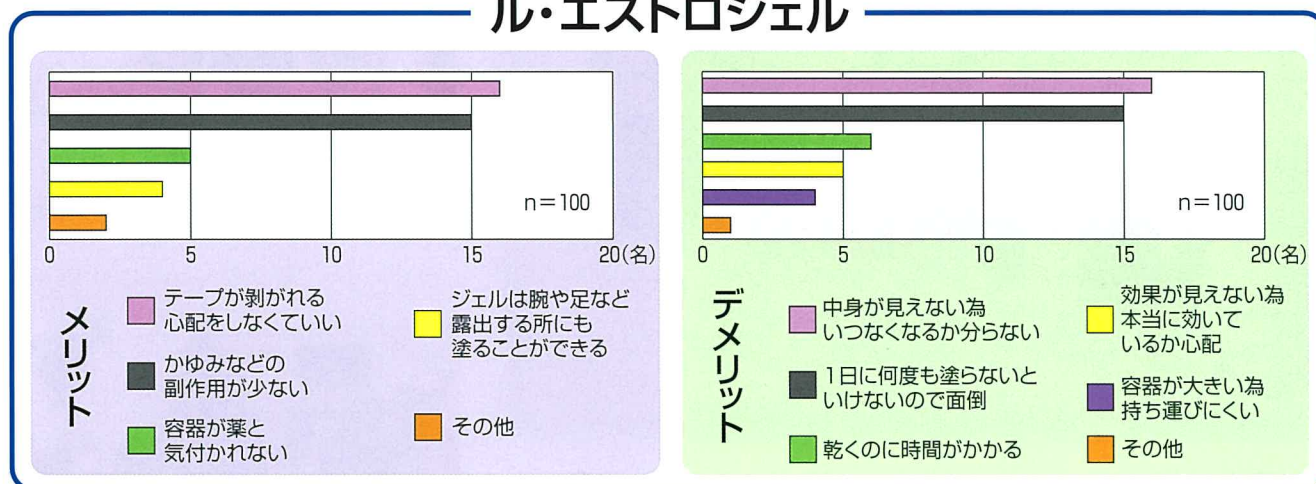
2013年11月からル・エストロジェルの使用を開始し、薬剤2種類の副作用や効果、使用感について比較をしました。

凍結胚移植におけるエストロゲンの作用は月経後に塗布・貼付することにより卵胞を育てることなく内膜を増殖させることができます。最近では受精卵の凍結技術は大きく進歩し、新鮮胚移植に比べ全国的に妊娠率や出生時数（生まれた赤ちゃんの数）が高いこともあり、当院でも凍結胚移植を選択することが多くなりました。

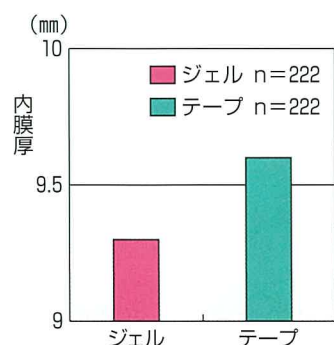
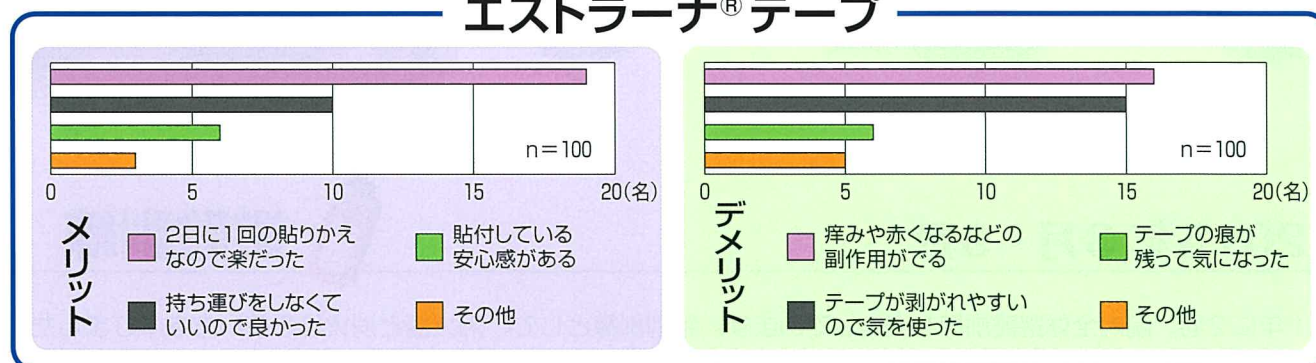
調査に協力して下さった当院治療中の患者さんに感謝します。

〈アンケート結果から〉

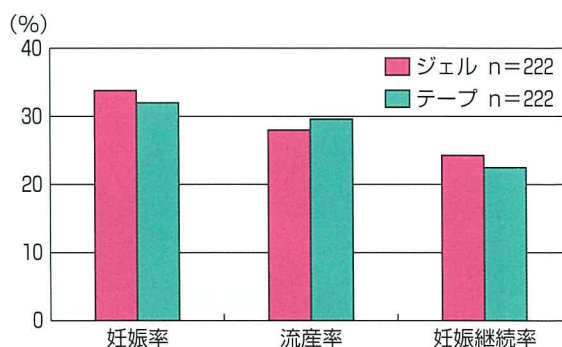
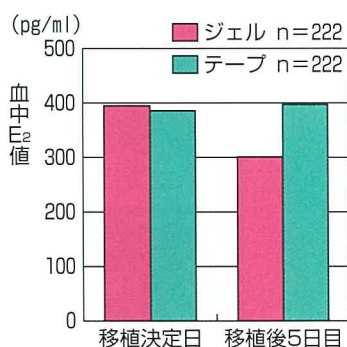
ル・エストロジェル



エストラーナ®テープ



※内膜厚や血中E₂値の検も行いましたが差はありませんでした。



※テープとジェルでは妊娠率・流産率・妊娠継続率に差はありませんでした。

患者さんによって使用した際に感じる使用感はそれぞれでした。

患者さんの生活リズムに合った薬剤の選択や、ニーズに合わせるなど、エストラーナ®テープが合わない患者さんへの代替手段としてル・エストロジェルを選択することは有用であると考えます。

セント・ルカ産婦人科 アルバム

2014年 12月

 **クリスマス会**

毎年恒例、患者さんも参加して一緒にクリスマス会を行いました。日本福音ルーテル大分教会牧師野村陽一先生のクリスマスのお話を聴き、アンサンブルルーチェの方々のすばらしいクラシックの演奏を楽しむことができました。お茶会では手作りお菓子の家やリースのパンをいただきました。



2015年 3月・9月

 **避難訓練**

1年に2回、院内全体避難訓練を実施しています。特別訓練として、消火器と消火栓の使い方を学びました。



消火器訓練



消火栓使用放水訓練

2015年 4月



お花見

平和市民公園にてスタッフ、日頃お世話になっている各病院の先生方、業者さんをお招きしてお花見を行いました。

まだ少し肌寒い中ですが、リコーダー演奏があったり、桜の木の下でバーベキューをみんなで楽しみました。



2015年 6月3日 セント・ルカ産婦人科 開院23周年

これからも、患者さんが安心して通院できるような技術と知識と心を提供する為スタッフ一丸となってがんばります。



〈開院から2014年12月までの成績〉

外来患者数 24,097人

男性： 8,769人

女性：15,328人

挙児希望女性数 11,811人

妊娠に至った女性：6,242人

患者あたりの妊娠率：52.5% (6242/11811)

治療を途中で諦めた女性：5,378人

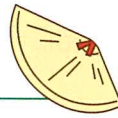
実妊娠率：96.0%

((11,881-5639) / (11,881-5378))



セント・ルカ産婦人科アルバム

2015年 8月13日・14日



徳島 阿波踊り

今回初めて徳島阿波踊りに参加させていただきました。
 駅周辺は熱気と人で溢れ、とても圧倒させられました。踊りも徳島大学の先生方やスタッフの方たちが丁寧に教えてくださったので、楽しく踊る事ができました。
 なかなか経験できない貴重な体験ができたのでよかったです。

受付 大城 麻依



情報処理室より



2015年春より
 ホームページをリニューアルしました



みなさん、当院のホームページをご覧になっていますか？
 当ホームページは、情報処理室にて作成しています。

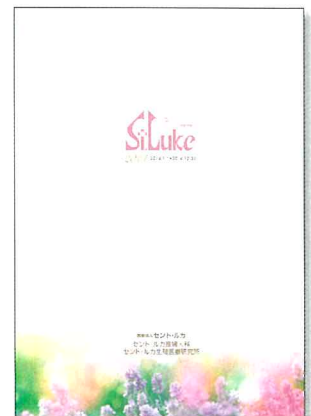
更新が滞ってしまうことも多々ありますが、休診や講座の予定などもアップしてありますので、ぜひご覧ください。

お気づきの点がございましたら、どうぞメールなどでお知らせください！
 患者さんのお役に立てるページ作りを目指したいと思います。

また、当院では年に一度、開院からの診療データをまとめた年報を発行しています。
 データの集計は、当院で開発した統計解析ソフトを使用しています。

年報には診療データのほかに、院長による「巻頭言」や各部署からの「一年を振り返って」、行事一覧など、様々な情報を載せています。

ホームページにもアップしていますので、併せてご覧ください。



- 診療予定 (2015/10/31現在)
- 妊産・胎児科 産前産後検診
- 11/11 (金) 異種HCG検査小委員会 (東京) 出席のため、11:00頃まで休診不在です。
 - 11/12 (土) ~14 (日) The 17th Chongqing ART Conference (重慶) 出席のため、休診不在です。11/13 (日) の夕方診察は休診です。
 - 11/18 (水) ~21 (土) Reproductive Genetic Diagnostics (バースト) 出席のため、休診不在です。この期間の夕方診察は休診です。
 - 11/25 (水) 日本産科婦人科学会総連合会 (東京) 出席のため、午前診察の途中から休診不在です。夕方診察は休診です。
 - 11/27 (金) 第13回日本産科婦人科学会 (東京) 出席のため、休診不在です。夕方診察は休診です。
- 阿波外産科診療予定表
- 決定的なアップいたします。

受付より

不妊治療費助成金について

- ・ 治療開始時に法律上の夫婦であること
- ・ 申請時に夫婦のどちらかが県内在住（要住民登録）者であり、大分県内が生活の本拠であること
- ・ 前年の所得（1～5月は前々年）が夫婦合計730万円未満であること
- ・ 助成金対象は医療保険適応外の不妊治療に要した治療費

		大分県	大分市
申請回数（期間）	27年度	40歳未満で開始した場合、期間の制限なく 通算6回 まで 40歳以上で開始した場合、 43歳まで 期間の制限なく 通算3回 まで（43歳以上の方は27年度限り 通算3回 まで）	
	28年度	1) 助成の対象年齢は 43歳未満（妻） です 2) 年度内の 助成回数 や、 助成期間の制限 がなくなります 3) 特定不妊治療の 開始年齢 により、 通算回数の上限 が異なります 40歳未満で開始した場合、期間の制限なく通算6回まで 40歳以上で開始した場合、43歳までに通算3回まで	
申請期間		不妊治療を受けた日の属する年度の 3月末日まで	申請対象の治療が終了した日から 60日以内

平成27年10月より、不妊治療費助成制度が変わりました。

経済的な理由で、なかなか踏み切れないという夫婦が、少しでも早い時期に治療を受けられるよう、市町村と県が協力して、特定不妊治療の助成額を拡充します。

区分		説明	大分県	大分市	
助成金額	特定不妊治療	A	新鮮胚移植を実施	30万円	30万円
		B	採卵から凍結胚移植に至る一連の治療を実施（採卵・受精後、胚を凍結し、母体の状態を整えるために1～3周期程度の間隔をあけた後に胚移植を行うとの治療方針に基づく一連の治療を行った場合）	39万円	39万円
		C	以前に凍結した胚による胚移植を実施	7.5万円	10万円
		D	体調不良等により移植のめどが立たず治療終了	15万円	20万円
		E	受精できず、または、胚の分割停止、変性、多精子授精などの異常授精等による中止	15万円	20万円
		F	採卵したが卵が得られない、又は状態のよい卵が得られないため中止	7.5万円	10万円
男性不妊治療		精巣内精子回収術	19万円		
一般不妊治療	人工授精		10万円 （9/30までに治療が終了した場合のみ）	10万円	

※大分市にお住まいの方は《大分市》から、大分市以外の方は《大分県》から助成金が給付されます。

市町村独自の上乗せ助成がある場合がありますので、必ずお住まいの市町村へご確認ください。

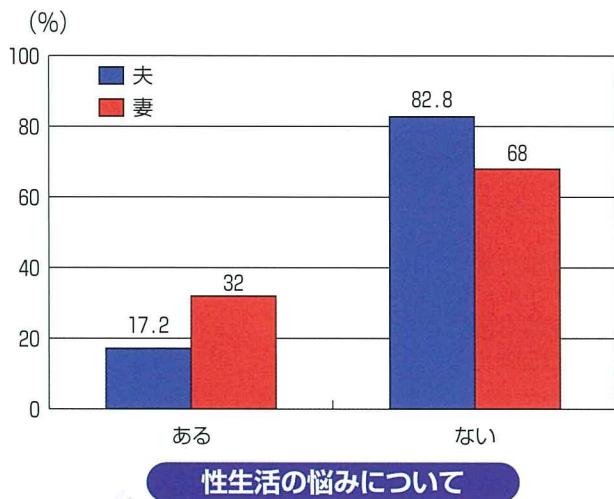


心理相談室より

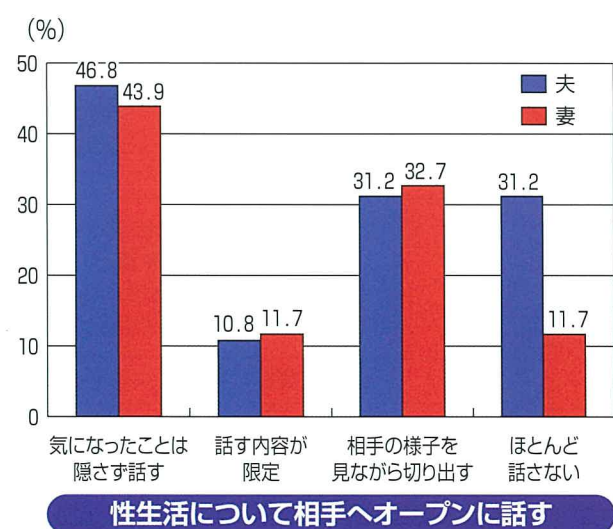
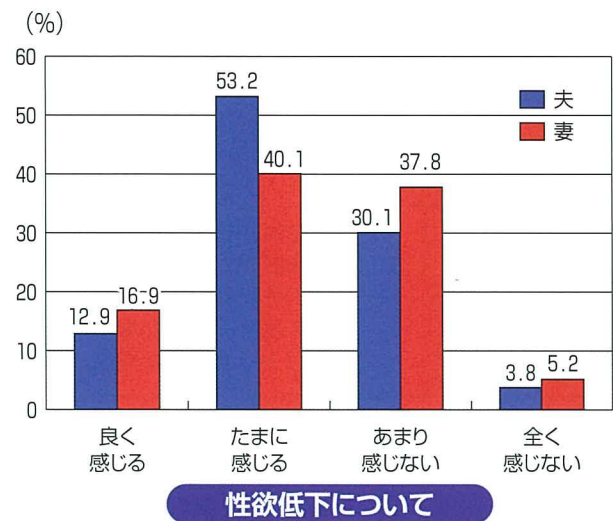


今年も終わりに近づき、早いものでまた今年も一年を振り返る季節となりました。皆様にとってはどのような一年だったでしょうか？

今年、初診で来院した患者様にアンケートのご協力を頂きました。ご夫婦各 200 名の方へ、夫婦の日常生活の充実感、性生活、ストレス、夫婦間が嫌悪モードになった時の対処法に関する内容の質問紙を配布させて頂きました。ご協力頂きましたお礼と共に気になった部分を一部ご報告したいと思います。



- 悩みの内容**
- ・時間の擦れ違い、疲れ
 - ・排卵日と指定されるとプレッシャーになる
 - ・子どもが欲しい気持ちの擦れ違い
 - ・マンネリ
 - ・相手の負担になっていないか心配になる



主に性生活の状況をグラフで挙げてみました。初診でもすでに性欲の衰えを感じている人が多いようです。男女問わず、生活の中でストレスを感じている人も多く、体調に現れている方も多く示されておりました。これから治療を始めるにあたり、特に女性は仕事と治療の両立がストレスになっている方が多くいらっしゃいます。忙しい中でも、生活を振り返りながら、趣味や夫婦での楽しみを見つけて治療に臨まれてください。

“ストレス”とは自分では気づきにくいものです。身体のきつさ、やる気のなさ、治療の結果が思うように出ない時など、少し話すとお気分が変わることも多いです。一人で抱えずにいつでも声をかけてください。

厨房より

こんにちは。厨房です。入院患者さんとスタッフの食事作りを2人で担当しています。今回は、季節行事の食事を紹介します。



朝食(洋食)に手作りパンを出したり、クリスマス会にもお菓子を作ったりしています。

各サークルにも手作りのパンやお菓子を出しているので参加される方はお楽しみに。



3月ひな祭りの日の食事です。お二人様、末永くお幸せに。

今年の出来はいかがですか？どうぞ、召し上がれ！



下の写真は、桜パンとピッツアデニッシュです。これも患者さんのお昼ご飯にだしています。



なかなか患者さんとはお会いできませんが、毎日、愛情を込めて食事を作っています。もし、見かけたら声をかけてください。

医局より

医師 河邊 史子



各部署から有志が集まってメンバーを構成しています。現在は7名。いつでも入部OKです。

セント・ルカには、リコーダークラブがあるのをみなさんご存知でしょうか。

院内行事であるお花見や忘年会、クリスマス会で演奏を披露させていただいたり、日本福音大分ルーテル教会のクリスマスミサで演奏を献曲させていただきます。

2008年のお花見から毎年、演奏を皆さんに聴いていただいています。レパートリーもだいぶ増えました。小学校や中学校で誰もが吹いたことのあるリコーダーですが、リコーダーの演奏はとて奥が深いです。そこが魅力でもあります。さらに練習を重ねて、私たちのリコーダーの音色が少しでも皆さんの癒しになればと思っています。

患者さんには、院内のクリスマス会で聴いていただけたらと思いますのでどうぞお楽しみに。

セント・ルカ産婦人科アルバム ～セミナー・学会編～

2015年 6月14日～22日

ESHRE 2016 (Lisbon, Portugal) に参加

6月14日～22日の間、ポルトガルのリスボンで開催された ESHRE (ヨーロッパ生殖医学会) に培養室の 大津英子、熊迫陽子が参加させていただきました。会場はとても広く、大規模な学会であることを実感しました。

ポスター発表をさせていただきました。ポスターはその殆どが e-poster で、各自、興味のある内容は自分のアドレスにポスターのデータをメールで送れるようになっていて、便利でした。

いつも論文の著者として名前は知っていた研究者の方々が世界中から集まり、拝見することができ感激しました。



大航海時代などの歴史を物語る、世界遺産を訪れることができました。

リスボンの街並みは古くからそのままになっている所が多く、楽しい観光でした。



ユーラシア大陸最西端のロカ岬からの眺めは圧巻でした。



新人紹介



浦川 奈津美
(看護部)

産婦人科で働くのは初めてで分からない事ばかりですが、勉強しながら仕事を覚えて皆様の力になれるように、毎日笑顔で頑張ります。

宜しくお願いします。



青木 桜
(受付)

体を動かす事が好きで趣味はテニスです。

いつも明るく、丁寧な心がけながら皆さんの治療のサポートが出来るように頑張ります！

よろしくお願ひいたします！

2015年を振り返って

Table with 2 columns: Date (e.g., 01.13, 02.05) and Event/Activity (e.g., 第190回 聖書の学び, 第60回 日本生殖医学会学術講演会市民公開講座). The table lists various academic and professional activities throughout the year 2015.

07.23 07.25	2015年度不妊症看護認定看護師教育課程(東京) 参加(手島) 第11回 九州産婦人科内視鏡手術研究会(福岡) 参加(川村、足立直、越光、河邊、院長)	07.26	第72回 九州・沖縄産婦人科学会(福岡) 参加(小池、熊迫、長木、川村、足立直、越光、後藤裕、神田、河邊、院長) 座長:「一般口演」10. ART (胚培養) (院長) 発表:「マウスを用いた妊産能に対するシクロフォスファミド(CPA)投与の影響」(小池恵) 「ヒト前核期胚を非侵襲的に評価するためのタイムラプスイメージングシステムと呼吸測定の効果について」(熊迫陽子) 「腹腔鏡が卵巣予備能に与える影響:前方視的検討」(長木美幸) 「不妊治療中のPOI患者への聞き取り調査」(川村智恵) 「不妊治療施設における減量に向けてのグループ指導」(足立直美) 「男性の主観的ストレスからみた性的欲求と性生活の関係—初診時問診票と内分、精液検査から—」(神田真由美) 「腹腔鏡下子宮内膜症性卵巣嚢腫エタノール固定術の再評価」(河邊史子)	10.27	第23回 セント・ルカ産婦人科倫理委員会 倫理委員:上野徳美先生(大分大学医学部医学科社会心理学 教授)、 緒方俊一先生(おがた泌尿器科医院 院長)、 後藤裕子(セント・ルカ産婦人科 看護部長)、 近藤邦子先生(別府平和園 保育士)、 野村陽一先生(日本福音ルーテル大分教会 牧師) (五十音順) オブザーバー: 神田真由美(セント・ルカ産婦人科 臨床心理士)、 河邊史子(セント・ルカ産婦人科 医師)
07.28 07.29 07.30	あすか製薬学術情報担当者集合研修(東京) 参加(院長) 講演:「生殖医療われわれの取り組み」(院長)	07.29 07.30	第226回 大分市医師会産婦人科臨床検討会(大分) 参加(院長) 2015年度不妊症看護認定看護師教育課程(東京) 参加(手島)	10.28 10.30 10.30 10.31	DIS Power Day 2015 in おおいた(大分) 参加(山路、安部) 第38回 日本母体胎児学会(別府) 参加(院長) 2015年度不妊症看護認定看護師教育課程(東京) 参加(手島) 第10回 RecNet(福岡臨床研究倫理審査委員会ネットワーク)講習会(福岡) 参加(大津、後藤裕、院長)
08.01 08.01 08.07 08.07 08.08 08.11 08.14 08.17 08.19 08.22 08.22 08.25 08.25 08.26 08.29 08.30	第88回 新患教室 参加者69名 参加(青木、越名、佐藤、浦川、戸高、北田、岡田) 第2回 2015年度(第10期)生殖心理カウンセラー養成講座(東京) 参加(神田) 事業者向け社会保険・税番号制度(マイナンバー制度)説明会(大分) 参加(越名) 2015年度不妊症看護認定看護師教育課程(東京) 参加(手島) 第3回 第10期オリープの会 参加者5名 第197回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 徳島大学ご進にて阿波踊り(徳島) 参加(矢野、大城、城戸、松土、院長) インターンシップ受け入れ(〜8月28日まで) 2015年度不妊症看護認定看護師教育課程(東京) 参加(手島) 第3回 2015年度(第10期)生殖心理カウンセラー養成講座(東京) 参加(神田) 第22回 臨床細胞遺伝学セミナー(東京) 参加(城戸、大津、院長) 院内全体研修:食べ合わせと便秘について(担当:厨房) 株式会社バスラボ フリーマガジン「ジネコ」冬号(Vol.28)取材 マイナンバー研修会(大分) 参加(越名、院長) 第217回 体外受精教室 参加者86名 参加(青木、足立小、熊迫、斉高、松土、篠田、神田) 日本生殖医学会 第2回 生殖医療従事者講習会(大阪) 参加(河邊)	11.02 11.05	新職員 渡辺千枝(看護部) 第46回 大分市医師会医学会(大分) 参加(山路、安部、青木、濱、大城、足立小、越名、下川、小池、佐藤、後藤香、熊迫、長木、大津、浦川、戸高、坂本、北田、亀井、赤嶺、川村、足立直、松元、岡田、篠田、越光、後藤裕) 発表:「体外受精においてタイムラプスによる胚の観察からわかること」(小池恵) 「複雑な染色体組換えを有する夫婦の着床前診断の検討」(大津英子) 「不妊治療中の早発卵巣不全(POI)患者への聞き取り調査」(川村智恵)	11.05 11.06 11.07 11.08 11.08 11.09 11.09 11.10 11.13	福岡臨床遺伝研究会(福岡) 参加(院長) 第219回 体外受精教室 参加者74名 参加(足立小、小池、斉高、松土、篠田、神田) JISART 施設認定審査 第2回 西日本生殖看護グループ勉強会(福岡) 参加(松土、松元) 株式会社バスラボ フリーマガジン「ジネコ」春号(Vol.29)取材 第9回 PGSに関する小委員会(東京) 参加(院長) The 17th Chongqing ART Conference(重慶) 参加(小池、後藤香、院長) 講演:「Using scanning electrochemical microscopy method to measure the oxygen consumption of embryos and time lapse imagings of embryos: evaluating the quality of human embryos for clinical treatment and practical application」(院長)
09.01 09.02 09.03 09.04 09.08 09.08 09.08 09.10	第8回 PGSに関する小委員会(東京) 参加(院長) 第227回 大分市医師会産婦人科臨床検討会(大分) 参加(院長) 福岡臨床遺伝研究会(福岡) 参加(院長) 第25回 遺伝学セミナー(千葉) 参加(院長) 第198回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 院内感染研修: B型肝炎について(担当:看護部) タイムラプスユーザーミーティング(横浜) 参加(熊迫) 第55回 日本産科婦人科内視鏡学会(横浜) 参加(越光、後藤裕、院長) 発表:「卵管鏡の導入」(院長)	11.14 11.18 11.21 11.21	第6回 2015年度(第10期)生殖心理カウンセラー養成講座(東京) 参加(神田) Reproductive Genetic Diagnostics Conference(Boston) 参加(城戸、大津、院長) 第63回 ガーネットサークル 参加者6名 第30回 日本生殖免疫学会総会・学術集会(熊本) 参加(後藤香) 発表:「子宮内膜間質細胞の脱着後における Protease activated receptor-1 (PAR-1) を介した妊娠維持への細胞内情報伝達経路における検討」(後藤香里)	11.14 11.18 11.21 11.21	JISART 事務教育委員会(東京) 参加(越名) 第200回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 第33回 日本受精着床学会総会・学術講演会(東京) 参加(小池、熊迫、大津、川村、足立直、後藤裕、神田、院長) 座長:教育講演3「着床前遺伝子診断の新たな解析技術がもたらす重篤な疾患への福音」(院長) アフタヌーンセミナー講演:「移植方法と黄体補充の strategy」(院長) シンポジウム講演:「多核卵母細胞 1PN / OPN 胚の臨床応用について」(大津英子) 発表:「マウスを用いた妊産能に対するシクロフォスファミド(CPA)投与の影響」(小池恵) 「ヒト前核期胚におけるタイムラプスイメージングシステムを用いた観察と呼吸測定の効果について」(熊迫陽子) 「不妊治療中の早発卵巣不全(POI)患者への聞き取り調査」(川村智恵) 「不妊治療施設における減量に向けてのグループ活動」(足立直美) 「初診時のセックスレス夫婦の生活充実感と夫婦関係コーピング方略について」(神田真由美)
09.10 09.10 09.13	第10回 技術認定審査コンセンサスマーケティング(横浜) 参加(院長) 第13回 日本生殖看護学会(岡山) 参加(城戸、岡田) 発表:「不妊患者の着床前スクリーニングに対する意識調査」(城戸京子) 「不妊クリニックで開催した保護者のための性教育の取り組み」(岡田清美)	11.22 11.24 11.26	院内全体研修:遊難訓練(担当:受付) 第62回 「赤ちゃん〜今ならきつと授かる〜」講座(大分・トキハ会館) 参加者72名 講師(越名(受付)、越光(看護副部長)、神田(臨床心理士)、院長、おがた泌尿器科医院 緒方俊一先生) 参加(山路、油野、青木、小池、浦川、赤嶺、川村、足立直、河邊)	11.28	第11回 ご夫婦二人だけの生活を選ばれた元患者さんを囲む会 参加者14名
09.15 09.19	平成27年度 第2回 PGSに関する小委員会ワーキンググループ(東京) 参加(院長) 2015年度不妊症看護認定看護師教育課程(東京) 参加(手島) 第4回 第10期オリープの会 参加者5名	12.03 12.05 12.08 12.12 12.12 12.12 12.14	福岡臨床遺伝研究会(福岡) 参加(院長) 第90回 新患教室 第201回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 忘年会 第7回 2015年度(第10期)生殖心理カウンセラー養成講座(東京) 参加(神田) 大分県議会人口減少・少子高齢化対策特別委員会(大分) 参加(院長) 講演:「本県における不妊治療の現状について」(院長)	12.18 12.18 12.18 12.18 12.18 12.23 12.25 12.26	第1回 日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会遺伝カウンセリングロールプレイ研修会(長崎) 参加(院長) 第1回 日本産科婦人科遺伝診療学会学術講演会(長崎) 参加(佐藤、城戸、院長) 第220回 体外受精教室 クリスマス会 日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会合同遺伝カウンセリングロールプレイ研修会(愛知) 参加(院長)
10.01 10.02 10.02 10.02 10.03 10.03 10.03 10.03 10.09 10.10 10.11	福岡臨床遺伝研究会(福岡) 参加(院長) 第42回 大分市医師会産婦人科〜内分、不妊・代謝〜懇話会(大分) 参加(山路、安部、油野、青木、濱、大城、足立小、越名、下川、佐藤、城戸、長木、浦川、戸高、坂本、北田、亀井、赤嶺、川村、足立直、松元、岡田、越光、後藤裕、神田、河邊) 「子宮内膜症の癌化を免れないコソ」(奈良県立医科大学 産婦人科 教授 小林浩生)	10.02 10.02 10.02 10.03 10.03 10.03 10.09 10.10 10.11	日本受精着床学会 平成27年度 第1回 常務理事会(東京) 参加(院長) 2015年度不妊症看護認定看護師教育課程(東京) 参加(手島) 遺伝性疾患に関する出生前診断研究会幹事会(福岡) 参加(院長) 第22回 遺伝性疾患に関する出生前診断研究会(福岡) 参加(佐藤、城戸、院長) 第4回 2015年度(第10期)生殖心理カウンセラー養成講座(東京) 参加(神田) 2015年度不妊症看護認定看護師教育課程(東京) 参加(手島) 第218回 体外受精教室 参加者73名 参加(青木、足立小、大津、浦川、斉高、松土、篠田、神田) 第12回 大分県性衛生学会(大分) 参加(浦川、戸高、坂本、北田、亀井、赤嶺、川村、松元、篠田、越光、後藤裕、神田、河邊、院長) 発表:「不妊治療中の早発卵巣不全(POI)患者への聞き取り調査」(川村智恵)	10.11 10.13 10.15 10.16 10.17 10.23 10.23 10.24 10.24 10.24 10.24 10.24 10.27	日本卵子学会第7回生殖補助医療胚培養セミナー(東京) 参加(下川) 第199回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 第60回 日本人類遺伝学会(東京) 参加(佐藤、城戸、院長) 2015年度不妊症看護認定看護師教育課程(東京) 参加(手島) 第62回 ガーネットサークル 参加者6名 第6回 大分産科婦人科内視鏡研究会(大分) 参加(院長) 2015年度不妊症看護認定看護師教育課程(東京) 参加(手島) 第99回 新患教室 参加者84名 参加(青木、越名、長木、戸高、北田、岡田) 第5回 第10期オリープの会 参加者4名 第5回 2015年度(第10期)生殖心理カウンセラー養成講座(東京) 参加(神田) 医療情報システムフェア(大分) 参加(山路、安部、大城、越名) マネジメントレビュー
10.11	第62回 ガーネットサークル 参加者6名	著書 (院長)	「配偶子提供の課題」『臨床婦人科産科』第69巻第8号(医学書院) 「Reproductive Medicine and Medical Tourism」 「Current Issues and Emerging Trends in Medical Tourism」(IGI Global Press) 「C. 治療(4)不妊治療と妊娠 5. インプリメンティング異常」[不妊・不育 診療指針(仮称)] (株式会社中外医学社)(印刷中) 「Poor responderに対する排卵誘発法」『産科と婦人科』(診断と治療社)(執筆中) 「培養液の現状」『生殖補助医療(ART) - 胚培養の理論と実際』(近代出版)(執筆中)	論文 (熊迫陽子)	「ヒト前核期胚を非侵襲的に評価するための呼吸測定とタイムラプスイメージングシステムの効果」 日本受精着床学会雑誌(投稿中)

妊娠報告件数
(2014.11.1~2015.10.31)

体外受精、顕微授精等
200件
*
その他(体外受精以外)
161件
計 **361件**



編集後記

昨年から1年に1回の新聞発行となり、今年は少し内容がパワーアップしました。各部署からはあらたに、医局、情報処理室そして厨房の報告が加わりました。また、アルバムページでは、1年間の行事を写真で振り返りました。1年があっという間に過ぎていきますが、これからも職員一同一丸となって進んでいきたいと思ひます。